

号外!

次は12月。あの親子と初の女性落語家も!

第33回 佐世保かっちえて落語会

林家正蔵・たま平・つる子

私はあるとき、気がつきました。「太陽が地球の周りを回っているのではなくて、地球が太陽の周りを回っているのだ!」と。「お前はガリレオか!」。そうじゃなくて、「かっちえて落語会のお客様には、女性が多い!」と気がついたので。そうなんです。この会には、女性の常連客が多いんですよ。奥様が落語好きのご主人に連れられて。というのはよくあるパターンですが、この会には、女性同士のグループ参加が多いんです。さらに、予約者名簿によると、ひとりでいらっしゃる女性も多いんです。これは、想定外の嬉しさですね。寄席や落語会にひとりで行くのは、だいたい男性だと決まっていたんですが、この会には女性のおひとり様も多いんです。しかも、そういう女性たちが毎回のように予約されるんです。しかも、会場での笑いの反応がとてもいいんです。ほんと、これは嬉しいですねえ。あッ!もちろん、男性の予約も嬉しいんですよ。あッ!もちろん、男性のような女性の予約も、女性のような男性の予約も嬉しいんですよ。私は平等主義者ですから。

で、もうひとつ気がつきました。立ち上げた当初からあるときまでは、「落語やりたいからかっちえて!」と参加してくる子供たちは男子が多かったんですが、2年ほど前から形勢逆転。女子が増えて、今回の落語っ子も女子は5人ですが、男子は2人。そんなこんな状況から判断し、前期高齢者の私は、衰えつつある前頭葉を鼓舞して考えました。「ここらで女性落語家に来てもらうのも面白いんじゃないかな。落語っ子たちにとっても興味深いんじゃないかな」と。そういうわけで、次回12月は女性の落語家、林家つる子が初登場!

林家つる子：1987年生まれの36歳。中央大学卒業後、2010年に九代目林家正蔵に入門。2011年に前座となり、2015年に二ツ目昇進。男社会の落語界で、女性の視点から落語を描く挑戦を行っており、その挑戦が、2022年NHK総合「目撃!にっぽん」、日本テレビ「NEWS ZERO」その他、新聞、雑誌等で取り上げられ大きな話題となり、今や人気急上昇中。もちろん、人気のみならず、その実力も高く評価されていて、来年の3月には真打への昇進が決定!それも先輩11人を抜いての“抜擢(ぼってき)真打”であり、これは女性落語家では初の快挙である。

女性の弟子を取らない師匠が多いなか、志願してきた若き女性を迎え入れ、前座から厳しくも優しく指導して、真打にまで育て上げたのが、一緒に来てくれる林家正蔵師匠なのです。

林家正蔵 : 全国的な人気もさることながら、文化庁芸術祭優秀賞なども受賞し、その温かい人柄から語られる古典落語は、非常に高く評価されている。落語協会副会長として落語界を支え、テレビに映画に多忙でありながらも、「かっちえて」は9回目。有難いですねえ。次回はあの名作を演ってくれるのか、期待は膨らむばかりです。

上記のあの名作とは、『芝浜』のこと。昨年12月の舞台挨拶で、正蔵さん自身の口から「来年も来ます！そして来年は、芝浜をやります！」と力強く約束してくれたのですが、私は疑り深い巳年生まれなので、この号外を書く前に、ご本人に連絡して確認したところ、「約束どおり芝浜やります！」と再度、力強い返事をいただきました。ご期待ください！さらに、前途有望な二ツ目、たま平さんも来てくれます。

林家たま平 : 正蔵師匠の弟子であり、実の息子。回を重ねるたびに、その勢いのある高座に佐世保でもファンが増えていて、落語界初の四代目として、将来を期待されている若き噺家である。

地元の子供たちによる“地産地笑”の創作落語があり、女性のつる子が初登場で、「正蔵の芝浜」があって、たま平との親子共演があって・・・次回も、他では鑑賞できない落語会になると思いますので、お早めのご予約をおすすめいたします。ほんと、予約と座薬はお早めに（なんのこっちゃ）。笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。次回も！あなたと！会場でお会いできることを、べらぼうに願っております。

(文責・海老原靖芳)

2023年12月3日(日) 開演午後4時 佐世保コミュニティーセンター5F

指定席 大人：2,500円・小中高生：1,000円

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぽ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時